

報告事項 ケ

平成19年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

平成19年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について、別紙のとおり報告します。

平成20年7月15日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成19年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

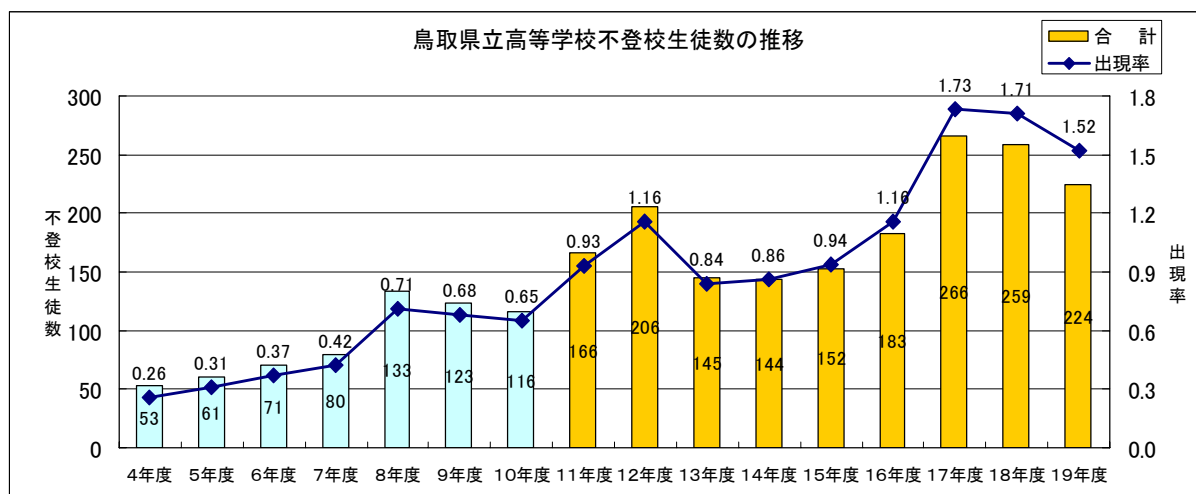
高等学校課

1 不登校生徒の状況

(1) 概況

ア 不登校生徒数の推移

平成17年度をピークに実数、出現率とも減少に転じた。

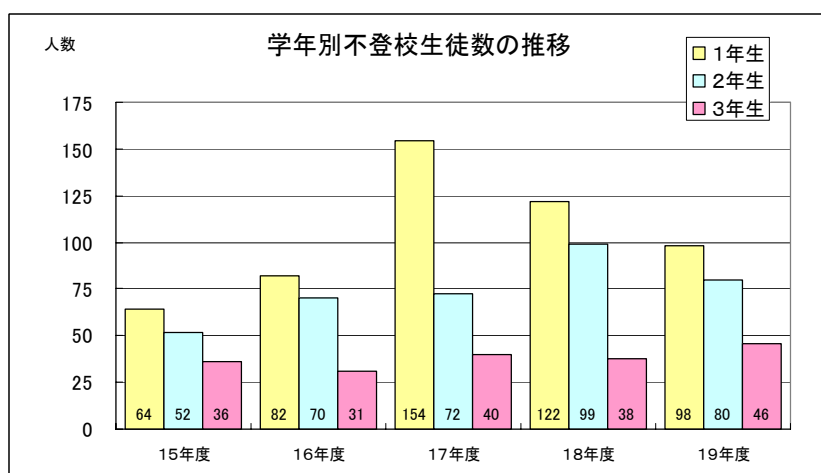


(注) 不登校を理由とする欠席日数の集計。

平成10年度までは年間50日以上、11年度以降は30日以上の欠席を対象としている。

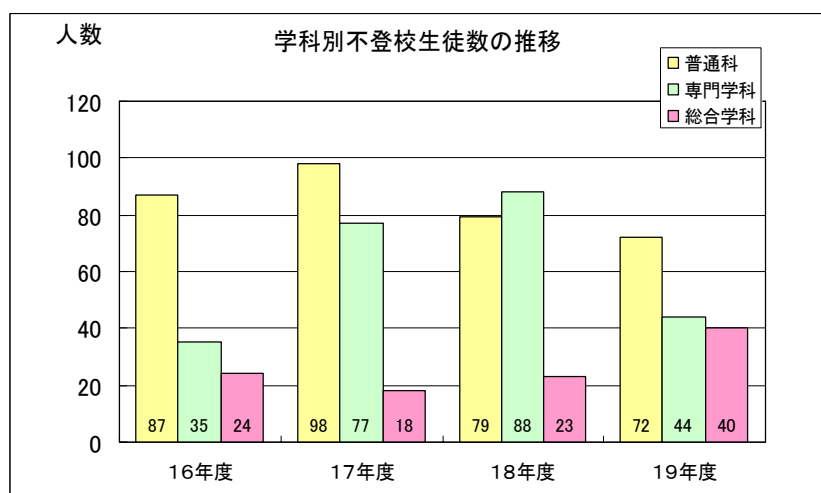
イ 学年別状況

- ・ 1年生の不登校生徒数は全体の傾向同様、2年連続して減少している。
- ・ 2年生の不登校生徒数は、昨年度よりは減少したが、増加の傾向にある。
- ・ 3年生の不登校生徒数は隔年で増減を繰り返している。



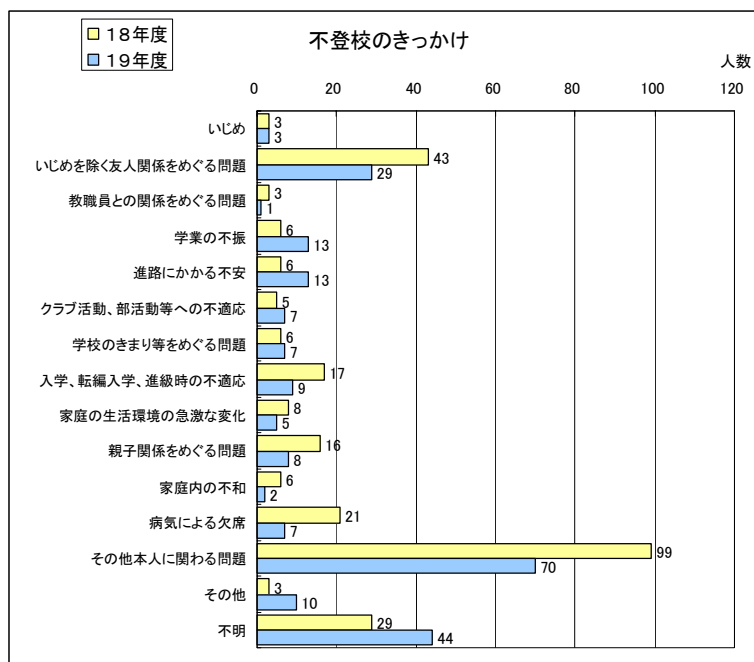
ウ 学科別状況

- ・ 専門学科における不登校生徒数は大きく減少した。
- ・ 総合学科における不登校生徒数に増加の傾向が見られる。



(2) 不登校のきっかけ

- ・ 友人関係に起因するものが減少し、学業・進路に不安を訴えるものが増加した。
- ・ 家庭生活に起因するものは各項目とも減少した。
- ・ 本人に関わる問題に起因するものは減少したものの、最も多いきっかけとなっている。
- ・ 要因が複数あり特定できない、本人が面談を拒否する等によるきっかけ不明が増加した。



2 分析

- (1) 19年度に新たに不登校となった生徒は、全不登校生徒の6割を超える。入学あるいは進級で学習が新しいステージへ進んだことに対応できない、何らかの理由で悪化した友人関係を修復できない等の理由で不登校になるなどが原因としてあげられる。
- (2) 不登校になった生徒の約2割は、年度末の段階で授業に出席できるようになっており、担任、学年主任をはじめ、養護教諭、校内教育相談担当教員、スクールカウンセラー、外部専門機関等の連携が功を奏しているものと考えられる。
- (3) 全く指導・相談を受け入れない生徒も存在し、不登校状態が継続したり、転学、退学などの進路変更をすることにつながっている。

3 19年度の取組

(1) 不登校対策調査研究事業

ア 県内4校の協力の下、調査研究を行い、事例の収集・分析を実施

イ 成果を「不登校事例集」として各高等学校・中学校に配布し、活用を指示

(2) スクールカウンセラー・教育相談員の配置

ア スクールカウンセラーを県立高校22校に配置。(20年度は全校に配置)

イ 臨床心理士の資格を有する教育相談員を年度中途に2名採用。(20年度当初にも1名採用。東中西各教育局に配置し、各学校を訪問)

(3) ひきこもり(傾向)の生徒への支援に関する研究調査事業(県教育センター)

ア ハートフルユニット(通所指導)

イ 中途退学予防としてのQ-U調査を協力校4校で実施(20年度は8校予定)

4 今後の不登校防止策

- (1) あらゆる教育活動の場面における行動の観察
- (2) 生徒の状況を把握した上での、タイミングのよい面談やカウンセリング
- (3) 担任、教育相談担当教員、スクールカウンセラー等の連携
- (4) 関係専門機関等との連携
- (5) 保護者との連携及び信頼関係の構築
- (6) Q-U調査等を用いた生徒の状況の客観的な分析
- (7) 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成
- (8) 生徒自らの生き方に対する自覚と進路意識の高揚
- (9) 個人情報保護に配慮した上での中学校との連携

鳥取県立高等学校の不登校生徒数の推移

高等学校課

		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
在籍生徒数		16,101		15,785		15,339		15,167		14,732	
学年別	1年	64	1.22	82	1.55	154	2.96	122	2.33	98	2.00
	2年	52	0.95	70	1.36	72	1.40	99	1.98	80	1.61
	3年	36	0.67	31	0.58	40	0.80	38	0.77	46	0.95
	4年	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計		152	0.94	183	1.16	266	1.73	259	1.71	224	1.52
男女	男	63	0.80	79	1.01	121	1.59	109	1.42	89	1.19
	女	89	1.08	104	1.30	145	1.88	150	2.00	135	1.86
全定	全日制	123	0.79	146	0.96	193	1.31	190	1.30	156	1.10
	定時制	29	6.14	37	7.20	73	13.04	69	12.52	68	12.30
全 日 制 課 程 別	普通科			87	1.10	98	1.30	79	1.06	72	0.98
	専門学科			35	0.57	77	1.28	88	1.48	44	0.78
	総合学科			24	1.95	18	1.48	23	1.91	40	3.44
退学者数		48		58		85		73		77	
不登校生徒に対する割合(%)		31.6		31.7		32.0		28.2		34.4	
全国の不登校率(公立高等学校)				1.91		1.73		1.78			

率(%)はそれぞれの母集団における出現率を表す。

不登校のきっかけ		16年度		17年度		18年度		19年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
学 校 生 活 に 起 因	いじめ	36	19.7	42	15.8	3	1.1	3	1.3
	いじめを除く友人関係をめぐり の問題					43	16.0	29	12.9
	教職員との関係をめぐり の問題	3	1.6	2	0.8	3	1.1	1	0.4
	学業の不振	2	1.1	15	5.6	6	2.2	13	5.8
	進路にかかる不安	14	7.7	8	3.0	6	2.2	13	5.8
	クラブ活動、部活動等への不 適応	2	1.1	1	0.4	5	1.9	7	3.1
	学校のきまり等をめぐり の問題	3	1.6	12	4.5	6	2.2	7	3.1
	入学、転編入学、進級時の不 適応	9	4.9	20	7.5	17	6.3	9	4.0
	小計	69	37.7	100	37.6	86	32.1	79	35.1
家 庭 生 活 に 起 因	家庭の生活環境の急激な変化	4	2.2	4	1.5	8	3.0	5	2.2
	親子関係をめぐり の問題	8	4.4	11	4.1	16	6.0	8	3.6
	家庭内の不和	4	2.2	4	1.5	6	2.2	2	0.9
	小計	16	8.7	19	7.1	30	11.2	15	6.7
本 人 起 因 に	病気による欠席	19	10.4	15	5.6	21	7.8	7	3.1
	その他本人に関わる問題	61	33.3	100	37.6	99	36.9	70	31.1
	小計	80	43.7	115	43.2	120	44.8	77	34.2
その他		8	4.4	15	5.6	3	1.1	10	4.4
不明		10	5.5	17	6.4	29	10.8	44	19.6
合計		183	100	266	100	268	100	225	100

(注1) 17年度までは、不登校生徒1人につき、主たるきっかけを1つ選択。18年度以降は、考えられるものをすべて選択。

(注2) %は不登校のきっかけにおける構成比率を表す。